



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日
上場取引所 札

上場会社名 日本グランド株式会社
コード番号 2976 URL <https://www.nippon-grande.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 矢代 俊二 (TEL) 011-211-8124
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	980	53.8	△90	—	△107	—	△73	—
2023年3月期第2四半期	637	△54.9	△76	—	△87	—	△28	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △70百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △28百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△54.74	—
2023年3月期第2四半期	△22.24	—

(注) 2023年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、また、2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,255	1,883	26.0
2023年3月期	8,465	1,971	23.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,883百万円 2023年3月期 1,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	4,393	△3.7	145	△27.6	107	△40.3	74	△52.5	55.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	1,343,600株	2023年3月期	1,343,600株
2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期2Q	1,343,600株	2023年3月期2Q	1,300,100株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による規制も緩和され、徐々に経済活動の正常化が進み、物価上昇の影響を受けながらも緩やかな回復傾向が見られました。一方で、不安定な国際情勢による地政学リスク、為替相場の変動等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、札幌市の新築分譲マンション市場は、用地代や建築コストの高騰によりマンション販売価格の高騰も続いており、特に札幌市都心部において顕著となっております。また、完成在庫も引き続き増加傾向にあります。今後も、用地代や建築コストの上昇、建設業界における人手不足、住宅ローン金利の動向等注視が必要な状況が続くものと思われまます。

このような環境の中、当社グループは、マンション販売価格が高騰を続けている状況の中で、商品企画において継続してコスト削減を図り、適正価格での供給に取り組んでまいりました。

当社グループの主力事業であります不動産分譲事業におきましては、当第2四半期連結累計期間において、新築では分譲戸建住宅1戸、前期繰越在庫では分譲マンション14戸の引渡となり、総引渡戸数は15戸(前年同期比12.5戸増)となりました。なお、当連結会計年度における新築分譲マンションは、第3四半期連結会計期間に1物件、第4四半期連結会計期間に1物件の竣工・引渡を予定しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は980,561千円(前年同期比53.8%増)、営業損失は90,277千円(前年同期は76,302千円の営業損失)、経常損失は107,850千円(前年同期は87,071千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は73,546千円(前年同期は28,919千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(不動産分譲事業)

当第2四半期連結累計期間における分譲マンション事業におきましては、前期繰越在庫14戸(前年同期比11.5戸増)の引渡を行っております。なお、第3四半期連結会計期間に竣工予定の「グランファーレ環状通東グランディオ」につきましては完売し、第4四半期連結会計期間に竣工予定の「グランファーレ幌西グランシェール」につきましては、販売を継続しております。また、第4四半期連結会計期間に竣工・引渡の予定でありました「グランファーレ真駒内グランフォレスト」につきましては、工期の遅延のため、竣工・引渡は来期に変更となっております。

分譲戸建住宅事業におきましては、第1四半期連結会計期間に竣工した新築分譲戸建住宅「ラ・レジーナ福住」1戸(前年同期比1戸増)の引渡を行っております。なお、「ラ・レジーナ福住」及び第4四半期連結会計期間に竣工予定の「ラ・レジーナ幌西」につきましては、販売を継続しております。

当第2四半期連結累計期間における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は15戸(前年同期比12.5戸増)、売上高は610,185千円(前年同期比529.2%増)となりました。

その他の売上高は16,879千円(前年同期比92.1%減)となりました。主な減少の要因は、前第2四半期連結会計期間に、販売用不動産(土地)を売却したことによるものであります。

この結果、不動産分譲事業の売上高は627,064千円(前年同期比101.8%増)となり、セグメント損失は79,268千円(前年同期は57,209千円のセグメント損失)となりました。

(不動産賃貸事業)

当第2四半期連結累計期間におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、賃貸料収入は161,781千円(前年同期比5.3%増)となりました。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は32,903千円(前年同期比3.5%減)となりました。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は78,390千円(前年同期比8.8%増)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は273,075千円(前年同期比5.1%増)となり、セグメント利益は89,510千円(前年同期比4.5%増)になりました。セグメント利益率につきましては32.8%(前年同期比0.2ポイント減)となりました。

(不動産関連事業)

当第2四半期連結累計期間におけるマンション管理事業におきましては、分譲マンションの管理棟数が増加したこと等により、売上高は60,995千円(前年同期比8.9%増)となりました。

その他の売上高は、19,426千円(前年同期比76.7%増)となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は80,422千円(前年同期比20.0%増)となり、セグメント利益は15,473千円(前年同期比11.4%増)となりました。セグメント利益率につきましては19.2%(前年同期比1.5ポイント減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,210,754千円減少し、7,255,183千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,172,117千円減少し、4,122,285千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて38,637千円減少し、3,132,897千円となりました。流動資産の主な増加の要因は、仕掛販売用不動産の増加992,965千円であり、主な減少の要因は、現金及び預金の減少1,615,006千円、売掛金及び契約資産の減少7,644千円、販売用不動産の減少433,258千円、その他の棚卸資産の減少7,557千円、未収消費税等の減少99,971千円であります。固定資産の主な減少の要因は、有形固定資産の減少44,541千円であります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,122,985千円減少し、5,371,637千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて987,328千円減少し、2,988,645千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて135,656千円減少し、2,382,991千円となりました。流動負債の主な増加の要因は、短期借入金の増加179,100千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加26,799千円、未払金の増加5,165千円、未払消費税等の増加32,087千円であります。主な減少の要因は、買掛金及び工事未払金の減少1,129,775千円、未払法人税等の減少60,900千円、預り金の減少23,842千円、契約負債の減少13,414千円であります。固定負債の主な減少の要因は、長期借入金の減少107,635千円及び繰延税金負債の減少32,679千円であります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて87,769千円減少し、1,883,545千円となりました。主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したほか、配当金の支払いにより利益剰余金が91,013千円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末の2,562,417千円に比べ、1,615,006千円減少し、947,410千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は、1,689,370千円となりました。主な増加の要因は、減価償却費の計上46,600千円、売上債権及び契約資産の減少額7,644千円、未払消費税等の増加額32,087千円、未収消費税等の減少額99,971千円、未払金の増加額5,165千円であり、主な減少の要因は、税金等調整前四半期純損失の計上107,850千円及び棚卸資産の増加額552,949千円、仕入債務の減少額1,129,775千円、前受金の減少額12,184千円、預り金の減少額23,665千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、5,151千円となりました。主な減少の要因は、無形固定資産の取得による支出5,963千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は、79,514千円となりました。主な増加の要因は、短期借入金の増加額179,100千円であり、主な減少の要因は、長期借入金の返済による支出80,836千円及び配当金の支払額17,466千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年8月31日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,562,417	947,410
売掛金及び契約資産	17,489	9,844
販売用不動産	631,956	198,698
仕掛販売用不動産	1,895,449	2,888,414
その他の棚卸資産	14,566	7,009
その他	172,523	70,907
流動資産合計	5,294,403	4,122,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,322,373	2,279,069
土地	775,139	775,939
その他（純額）	19,679	17,641
有形固定資産合計	3,117,191	3,072,650
無形固定資産	3,042	7,992
投資その他の資産	51,299	52,254
固定資産合計	3,171,534	3,132,897
資産合計	8,465,938	7,255,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,962,048	832,272
短期借入金	1,481,000	1,660,100
1年内返済予定の長期借入金	198,992	225,791
未払法人税等	62,143	1,242
賞与引当金	4,346	4,426
株主優待引当金	2,444	152
預り金	66,738	42,896
その他	198,260	221,764
流動負債合計	3,975,974	2,988,645
固定負債		
長期借入金	2,421,015	2,313,380
その他	97,633	69,611
固定負債合計	2,518,648	2,382,991
負債合計	6,494,622	5,371,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,726	182,726
資本剰余金	82,726	82,726
利益剰余金	1,705,991	1,614,978
株主資本合計	1,971,443	1,880,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△128	3,115
その他の包括利益累計額合計	△128	3,115
純資産合計	1,971,315	1,883,545
負債純資産合計	8,465,938	7,255,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	637,425	980,561
売上原価	424,000	771,992
売上総利益	213,424	208,568
販売費及び一般管理費	289,727	298,846
営業損失(△)	△76,302	△90,277
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	58
受取手数料	320	556
金利スワップ評価益	860	364
違約金収入	4,459	236
補助金収入	708	660
保険解約返戻金	—	149
その他	1,107	1,449
営業外収益合計	7,500	3,476
営業外費用		
支払利息	18,147	19,922
その他	121	1,126
営業外費用合計	18,269	21,049
経常損失(△)	△87,071	△107,850
特別利益		
固定資産売却益	841	—
保険解約返戻金	47,685	—
特別利益合計	48,527	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,544	△107,850
法人税等	△9,624	△34,303
四半期純損失(△)	△28,919	△73,546
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,919	△73,546

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△28,919	△73,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	3,243
その他の包括利益合計	△6	3,243
四半期包括利益	△28,926	△70,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,926	△70,302

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,544	△107,850
減価償却費	46,469	46,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	176	79
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,745	△2,292
受取利息及び受取配当金	△43	△58
金利スワップ評価損益(△は益)	△860	△364
支払利息	18,147	19,922
固定資産売却益	△841	—
保険解約返戻金	△47,685	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	37,509	7,644
棚卸資産の増減額(△は増加)	△869,709	△552,949
未払消費税等の増減額(△は減少)	△111,564	32,087
未収消費税等の増減額(△は増加)	△29,591	99,971
仕入債務の増減額(△は減少)	△359,487	△1,129,775
前受金の増減額(△は減少)	97,163	△12,184
未払金の増減額(△は減少)	△6,361	5,165
預り金の増減額(△は減少)	△625,375	△23,665
その他	28,847	7,263
小計	△1,863,498	△1,610,406
利息及び配当金の受取額	43	58
利息の支払額	△16,993	△23,199
法人税等の支払額	△18,514	△55,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,898,962	△1,689,370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△15,017	△77
有形固定資産の取得による支出	△1,556	△244
有形固定資産の売却による収入	841	—
貸付金の回収による収入	485	534
無形固定資産の取得による支出	—	△5,963
敷金及び保証金の返還による収入	11	600
敷金及び保証金の差入による支出	△600	—
保険積立金の解約による収入	47,685	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,849	△5,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	222,000	179,100
長期借入金の返済による支出	△81,554	△80,836
リース債務の返済による支出	△1,419	△1,282
配当金の支払額	△13,001	△17,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,025	79,514
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,741,088	△1,615,006
現金及び現金同等物の期首残高	3,070,846	2,562,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,329,757	947,410

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	310,701	259,708	67,014	637,425	—	637,425
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	7,360	7,360	△7,360	—
計	310,701	259,708	74,375	644,785	△7,360	637,425
セグメント利益又は損失(△)	△57,209	85,657	13,895	42,343	△118,646	△76,302

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△118,646千円には、セグメント間取引消去△7,360千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,286千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	627,064	273,075	80,422	980,561	—	980,561
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	6,132	6,132	△6,132	—
計	627,064	273,075	86,554	986,693	△6,132	980,561
セグメント利益又は損失(△)	△79,268	89,510	15,473	25,715	△115,993	△90,277

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△115,993千円には、セグメント間取引消去△6,132千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,860千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。